

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果について<鹿児島市所管分>

2026/4/1

【小学校、中学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	原良小学校(1-1号棟)	鹿児島県鹿児島市原良二丁目1番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05、CTU・Sd=0.63	—	—	Iso=0.7 耐震診断の結果、耐震改修不要
2	明和小学校(1-1号棟)	鹿児島県鹿児島市明和二丁目1番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05、CTU・Sd=0.59	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
3	伊敷小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市伊敷五丁目19番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.14、CT・Sd=0.88	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
4	西谷山小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市西谷山四丁目22番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05、CTU・Sd=0.33	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
5	坂元小学校(1-1号棟)	鹿児島県鹿児島市玉里団地三丁目45番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.01、CTU・Sd=0.38	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
6	吉野東小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市吉野町5968番地1	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.08、CTU・Sd=0.61	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
7	星峯西小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目9番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.17、CTU・Sd=0.66	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
8	錦江台小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市錦江台一丁目70番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.12、CTU・Sd=0.53	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
9	武岡小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市武岡二丁目30番地1	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04、CTU・Sd=0.38	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
10	西伊敷小学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市西伊敷四丁目12番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.1、CTU・Sd=0.33	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
11	和田小学校(17号棟)	鹿児島県鹿児島市和田二丁目2番10号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04、CTU・Sd=0.59	—	—	Iso=0.7 耐震改修済

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
12	南中学校(2号棟)	鹿児島県鹿児島市東郡元町13番34号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.15、CTU・SD=0.69	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
13	城西中学校(2号棟)	鹿児島県鹿児島市城西二丁目3番12号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.00、CTU・SD=0.56	—	—	Iso=0.7 耐震診断の結果、 耐震改修不要
14	天保山中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市下荒田二丁目31番15号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.11、CTU・SD=0.65	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
15	福平中学校(17号棟)	鹿児島県鹿児島市平川町6004番地	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05、CTU・SD=0.4	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
16	桜島中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市桜島藤野町1342番地	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05、CTU・SD=0.61	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
17	西紫原中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市西紫原町26番地1	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.07、CT・SD=0.65	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
18	松元中学校(3号棟)	鹿児島県鹿児島市上谷口町2994番地2	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.12、CTU・SD=0.64	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
19	緑丘中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市緑ヶ丘町46番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.05、CTU・SD=0.59	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
20	明和中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市明和二丁目2番1号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.11、CTU・SD=0.63	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
21	喜入中学校(11号棟)	鹿児島県鹿児島市喜入町7143番地	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.04、CTU・SD=0.58	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
22	坂元中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市玉里団地三丁目45番2号	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.15、CTU・SD=0.65	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
23	東谷山中学校(1号棟)	鹿児島県鹿児島市魚見町120番地2	学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.07、CTU・SD=0.61	—	—	Iso=0.7 耐震改修済

【体育館(一般公共の用に供されるもの)】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
24	鹿児島県総合体育センター 体育館 本館	鹿児島県鹿児島市 下荒田四丁目47番1号	体育館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=1.56、CT・Sd=0.41	—	—	U=1.25 耐震診断の結果、 耐震改修不要

【病院、診療所】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
25	独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター	鹿児島県鹿児島市 城山町8番1号	病院	—	—	—	—	
	本館棟、東病棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)(充腹)	Is/Iso=1.02、CT・Sd=0.44	—	—	U=1.1 耐震改修済
	高エネルギー棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=4.55、CTU・Sd=2.82	—	—	U=1.25 耐震診断の結果、 耐震改修不要
26	鹿児島大学病院 (附属病院歯科診療棟・病棟)	鹿児島県鹿児島市 桜ヶ丘8丁目35-1	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.02、CTU・Sd=0.48	—	—	Iso=0.7 耐震改修済
27	南風病院本館	鹿児島県鹿児島市 長田町63他11筆	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=0.62、CTU・Sd=0.31	耐震改修	令和8年7月 ～ 令和9年3月	

【劇場、観覧場、映画館、演芸場】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
28	鹿児島市民文化ホール	鹿児島県鹿児島市与次郎二丁目3番1号	劇場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.66$ 、 $CTU \cdot SD=0.81$	—	—	U=1.25 耐震診断の結果、耐震改修不要
29	鹿児島県文化センター	鹿児島県鹿児島市山下町5番3号	劇場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=1.13$ 、 $CT \cdot SD=0.61$	—	—	U=1.1 耐震診断の結果、耐震改修不要

【集会場、公会堂】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
30	エルセルモ鹿児島	鹿児島県鹿児島市照国町11-7他9筆	集会場	建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s=0.63$ 、 $q=2.54$	—	—	耐震診断の結果、耐震改修不要
31	本願寺鹿児島別院(本堂・会館)	鹿児島県鹿児島市東千石町21-38	集会場	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009版)(充腹)	$I_s/I_{so}=1.30$ 、 $CTU \cdot SD=0.3$	—	—	U=1.25 耐震改修済

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
32	山形屋1号館	鹿児島県鹿児島市金生町3番1号	百貨店	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)及び「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」に定める診断法(2011版)	$I_s=0.66$ 、 $q=2.25$	—	—	$I_{so}=0.60$ 耐震改修済
33	マルヤガーデンズ	鹿児島県鹿児島市呉服町6-1他20筆	店舗	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)(非充腹)	改修工事中	耐震改修	平成30年2月 ～ 令和9年3月	

【ホテル、旅館】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
34	温泉ホテル中原別荘	鹿児島県鹿児島市照国町15-19	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=1.00$ 、 $CTU \cdot S_D=0.49$	—	—	耐震改修済
35	ホテルニューニシノ	鹿児島県鹿児島市千日町13番地26他6筆	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(非充腹)	$I_s/I_{so}=1.16$ 、 $CTU \cdot S_D=0.42$	—	—	耐震診断の結果、耐震改修不要
36	アートホテル鹿児島	鹿児島県鹿児島市鴨池新町22番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(充腹)	$I_s/I_{so}=1.02$ 、 $CTU \cdot S_D=0.39$	—	—	$I_{so}=0.48$ 耐震改修済
37	鹿児島サンロイヤルホテル	鹿児島県鹿児島市与次郎一丁目8番10号	ホテル	—	—	—	—	Rt=0.95
	高層棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(非充腹)	$I_s/I_{so}=0.32$ 、 $CTU \cdot S_D=0.16$	建替え	令和9年度以降予定	
	宴会場棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.35$ 、 $CTU \cdot S_D=0.15$			
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」に定める診断法(2011年版)	$I_s=0.08$ 、 $q=0.35$							
38	ホテルタイセイアネックス	鹿児島県鹿児島市中央町4番地32他1筆	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so}=0.45$ 、 $CTU \cdot S_D=0.23$	耐震改修	令和9年度以降予定	
39	SHIROYAMA HOTEL kagoshima	鹿児島県鹿児島市新照院町41-1	ホテル	—	—	—	—	G=1.1 耐震診断の結果、耐震改修不要
	さつまの湯棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(非充腹)	$I_s/I_{so}=1.80$ 、 $CTU \cdot S_D=0.83$	—	—	
	東棟、西棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(非充腹)	改修工事中	耐震改修	平成29年7月～ 令和12年11月	

【博物館、美術館、図書館】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
40	鹿児島県立図書館本館	鹿児島県鹿児島市城山町7番1号	図書館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	Is/Iso=3.64、CT・SD=0.62	—	—	U=1.25 耐震診断の結果、耐震改修不要

【保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
41	水道局本庁舎	鹿児島県鹿児島市鴨池新町1番10号	事務所	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.18、CTU・SD=0.53	—	—	Iso=0.7 耐震診断の結果、耐震改修不要
42	鹿児島市本庁舎別館	鹿児島県鹿児島市山下町10番30号	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.10、CTU・SD=0.34	—	—	U=1.25 耐震改修済
43	鹿児島市本庁舎みなと大通り別館	鹿児島県鹿児島市易居町1番地1	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.03、CTU・SD=0.49	—	—	U=1.25 耐震改修済
44	鹿児島市本庁舎本館	鹿児島県鹿児島市山下町11番1号	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso=1.15、CTU・SD=0.69	—	—	U=1.25 耐震診断の結果、耐震改修不要

耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」に定める診断法(2011版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)(充腹)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(充腹)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(非充腹)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

I. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、

震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

※備考欄に記入のない場合は、Z(地域係数)=0.8、R_t(振動特性係数)=1.0、G(地盤指標)=1.0、U(用途指標)=1.0とする。